

27年度上期の論文審査を終えて。〈選考委員会からのコメント〉

・評価方法

30編の多きにわたる申請頂きありがとうございました。学部4年生（発表時大学院生）からD3まで、多岐にわたる学年と、理・工・医・生命機能・歯学部まで幅広い分野から応募を頂きました。どの論文も甲乙つけがたい優秀な論文ばかりでした。各選考委員に持ち点55点を与え、10篇の優れた論文を選んで頂き、各論文を10点～1点の配点を頂きました。21名の選考委員で1次選考を終えました。成績優秀者に重点を置き、2次選考委員会にて定員10名に対し8名の受賞者を選考しました。これは、申し込みが多かったことへの対応に加え、それぞれの論文の優秀度が高かったためです。

・講評

研究の背景と目的に対し、その成果と意義がきちんと対応付けられた論文が総じて高得点を得ました。

・注意事項

多くの論文を審査する都合上、形式要件に不備が有れば減点対象になります。

- ・目的・成果が重要なポイントにもかかわらず大変短い申請書があった。
- ・アブストラクトの字数オーバーしていた。
- ・専門用語多く、専門外の先生方に理解しにくい申請書があった。
- ・申請書のフォームに準拠せずに字数オーバーしている申請書があった。
- ・略号使用が多く、丁寧な記述にかけている申請書があった。

申請書のフォームを超え、2ページを超える申請書は受理できなくなります。記述条件を守り提出の際にご注意ください。

〈その他〉

- ・出張先の州を書いていない論文。
- ・著者が単名の論文。（複数の著者がいる場合）
- ・サマリーが大変短い申請書。
- ・内容説明書の所に自分の発表題名が書いていない論文。

・協会から

当協会は、これからも国際性豊かな人材の育成に注力して参ります。今後とも社団法人生産技術振興協会をどうぞよろしくお願い申し上げます。